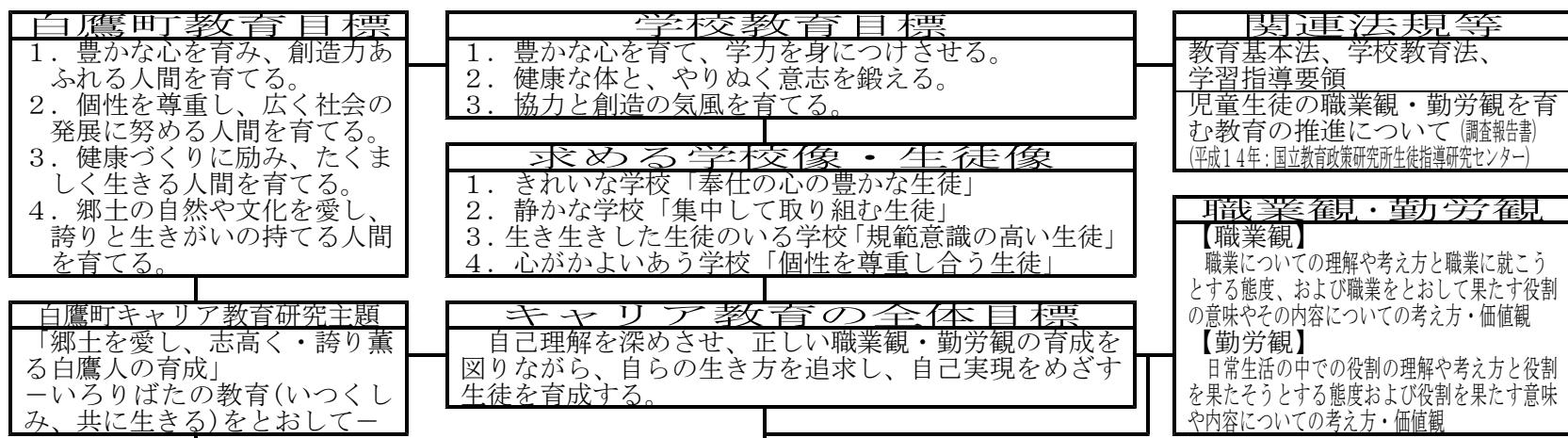


キャリア教育全体計画



職業的(進路)発達にかかるわかる諸能力(4能力領域と8能力)			
領域	めざす生徒像(領域説明)	能力と能力説明	職業的(進路)発達を促すために育成していく具体的な能力・態度 (○印は「職業観・勤労観」との関連が特に強いものを示す)
人間関係形成能力	規範意識をしっかりと持ち、他者の個性を尊重したり自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、集中・協力・共同して生き生きとものごとに取り組むことができる生徒	<p>【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力</p> <p>【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力</p>	○自分の良さや個性がわかり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。 ・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響がわかる。 ・自分の悩みを話せる人を持つ。 ○他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 ○人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションのスキルの基礎を習得する。 ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 ・新しい環境や人間関係に適応する。
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義・役割・多様性、並びに自己の個性を理解し、多様な進路情報を活用して、自己の進路選択に生かすことができる生徒	<p>【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力</p> <p>【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことなどを理解していく能力</p>	○産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ○上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略がわかる。 ○生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。 ○将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 ○体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いがわかる。 ・係・委員会活動や職場体験等で得たことを以後の学習や選択に生かす。
将来設計能力	豊かな心や希望を持って、今後の生き方や生活を考え、自己の卒業後の進路、将来の夢や職業を思い描くことができる生徒	<p>【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意識及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力</p> <p>【計画実行能力】 目的とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力</p>	○自分の役割やその進め方、よりよい集団生活のための役割分担やその方法等がわかる。 ○日常の生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。 ○様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の考え方を生き方を考える。 ○将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 ○進路計画を立てる意識や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。 ○将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。
意思決定能力	自らの目標達成や課題解決に關して、よりよい選択・決定を行い、それに向けての努力をやりぬく意志(意思)を持つことができる生徒	<p>【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力</p> <p>【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力</p>	○自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 ○選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。 ・学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かす。 ○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。 ○課題に積極的に取り組み、主体的に解決していくとする。

第1学年目標	第2学年目標	第3学年目標
自分の将来や働くことへの関心を高め、進路の希望や見通しを持ち、自己理解や自己伸長に努める生徒を育てる。	自己的能力・適性・進路情報を理解し、将来の生き方を考えながら、自分自身の進路の希望や計画を持ち、実現しようとする生徒を育てる。	自己的特色を総合的に理解し、将来の見通しを持った上で、自己の能力や適性に応じた進路を選択するとともに、卒業後の進路に適応できる生徒を育てる。

○…目標、◆…今年度の重点と具体策

教科	道徳	学級活動	特別活動	学交行事	総合的学習
<p>○各教科の学習を通して、自己の興味・適性・能力などの理解を深めさせる。</p> <p>◆生徒同士の関わり合いのある学習活動を通して「人間関係形成能力」の育成につなげる。</p> <p>◆生徒が自分の判断で選択できる学習課題や学習活動・学習教材(素材)を取り入れ、可能であれば選択の理由も表現させ、「意思決定能力」の育成につなげる。</p>	<p>○自分のよりよい生き方・在り方を見つめ、実践しようとする態度を養う。</p> <p>◆「人間関係形成能力」「将来設計能力」「意思決定能力」の育成に関わる徳目を全体計画の中に明記し重点的に授業で扱い、それらの能力の育成につなげる。</p>	<p>○学校教育全体で行われるキャリア教育の核として系統化し、計画的に指導を行い、生徒が進路設計できるようにする。</p> <p>◆授業で扱う主題名と4能力との関係を年間指導計画の中に明記し、計画に従って授業を行うことにより、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」の育成につなげる。</p>	<p>○生活の中の諸問題に気づき、生徒自身の力で解決しようとする活動を大切にし、自分たちの生活を自らの力と工夫で切り開く態度と能力を育成する。</p> <p>◆運動会・文化祭等の準備活動の中で、生徒の主体的な活動を行わせ、「人間関係形成能力」「意思決定能力」の育成につなげる。</p>	<p>○学校生活に変化と目標を与え、生徒が自主的に活動する場として教師と生徒が一体となって行事を創り上げ、感動体験を経験する。</p> <p>◆運動会・文化祭等の準備活動の中で、生徒の主体的な活動を行わせ、「人間関係形成能力」「意思決定能力」の育成につなげる。</p>	<p>○自分の設定したテーマについて追求し結論を導き出し、自分のよりよい生き方探しに役立てられる力をつける。</p> <p>◆総合的な学習の時間において、年間指導計画の中に、総合学習でつけたい力と4能力の関係を明記する。また、1年:職業調べ等、2年:職場体験等、3年:進路学習等の活動を進め、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」の育成につなげる。</p>